



教室の窓から① 6年生学級会

昨日(16日)、6時間目の教室を窓から見ていると、6年1組で学級会が行われていました。話合いの議題は、「一分間ボランティアと朝ボラの質を向上しよう」です。提案理由を要約すると「朝のボランティアと一分間ボランティアに取り組んではいるけれど、個人差があるからみんなでやってもっと質をあげていこう!」という内容でした。まずは一分間ボランティアのルール作りについて意見が出し合われる場面では、「5秒以内に席に座る」「ごみを3つ以上拾う」「ビンゴカードを配る」などたくさんの意見が出し合われました。そのたくさんの意見の中から、意見を整理しながら、比べ合って、折り合いを付けながら、合意形成を図っていきます。



帯西では、子供たち自身が話し合っ、みんなで決めたことを実践し、生活創りを行い、それを「4つの心」で振り返って成長の実感を味わっています。1年生から6年生までがこうした積み重ねを行うことによって、学校文化が醸成されています。

教室の窓から② 5年生道徳

本日(17日)、2時間目の教室を窓から見ていると、5年3組で道徳科の授業が行われていました。教科書の「流行おくれ」という題材をもとに、「自制する心」について考えていました。流行のジーンズを買ってもらえないことで腹を立てて、自分を見つめ直す主人公の姿を通して、我慢や工夫をして自制することが自分や周りの人の快適な生活に繋がることに気付いていくように授業が組み立てられていました。自制する自分になるために大切なこととして、子供たちは「自分でしっかり考えること」「今あるものを大切にすること」と意見を出し合っていました。そして「人を思いやる気持ちも大切に、弟から殴られるとやり返していた自分がいたけど、これからは弟に当たらず、自分で考えて行動したい。」と、これからの生活についてしっかりと考えながら自分の考えを学級に広めていきました。



道徳科の授業は、これからの自分の生き方のヒントや答えを学ぶ時間だと思えます。自分や友達の道徳的な価値観を出し合いながら、磨き合っ、欲しいと思えます。

青少協「朝のあいさつ運動」

今朝は、相変わらず寒い一日のスタートでしたが、朝から青少協の皆さんが、挨拶運動に立っていただき、心温まる一日のスタートを切ることができました。地域の方々のお姿を見ながら子供たちは成長していきます。このように、地域ぐるみで帯西の子供たちの健全な育成を図ることを目的とした取り組みに感謝します。PTAの有志の方々もご協力ありがとうございました。

